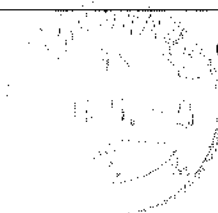


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 5月 / 日	
大分県知事 佐藤 樹一郎 殿	
提出者 住 所 大分県日田市諸留町2813-22 氏 名 株式会社グリーン発電大分 代表取締役 森山 和浩 電話番号 0973-28-5112	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社グリーン発電大分 天瀬発電所
事業場の所在地	大分県日田市天瀬町五馬市245-4
計画期間	2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電気業
② 事業の規模	年間販売電力量 38,000Mwh
③ 従業員数	14名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書）のとおり



(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙(多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書)のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(2023 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	燃えがら (BA、篩上げBA)	ばいじん (FA)
	排 出 量	160.68 t	752.15 t
	(これまでに実施した取組) 有効利用としてBA(燃えがら)をゴルフ場の目土及び海砂の増量剤、銅精錬用珪砂への増量剤として利用。		
	2023年度実績: 917.92t 有効利用先へ搬出済み 残り分は委託処理。(160.68t)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん
	排 出 量	500 t	1500 t
	(今後、実施予定の取組) 各種、有効利用を検討。		
	燃え殻については、現行運用の継続、新規利用先の調査継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(2023年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん
	全 処 理 委 託 量	160.68 t	752.15 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	再利用率の追加検討、調査。 現状、BA(燃え殻)をゴルフ場の目土、海砂の増量材、銅精錬用珪砂の増量材として販売している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃えがら	ばいじん
	全処理委託量	500 t	1500 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	200 t	1500 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 有効利用先の調査継続。 燃え殻について現行有効利用の継続。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



2024年 5月 / 日

(別紙) 多量排出事業者の産業廃棄物処理計画

株式会社グリーン発電大分 天瀬発電所

1、会社の概要

(1) 会社名

株式会社グリーン発電大分

(2) 資本金

97,000,000円

(3) 従業員数

14名(うち現場13名)

2、当該事業場において現に行っている事業の概要

(1) 従業員数

14名(うち現場13名)

(2) 製品出荷量

年間販売電力 約 38,000,000 kWh (1年間稼働での電力量)

(3) 製造概要

山林未利用材等による木質バイオマスを用いて発電を行い、売電する。

(4) 発電所フローシート

図-1 発電所フロー 参照

(5) 発電所配置図

図-2 発電所配置図 参照

(6) 事業展望

山林未利用材等の有効利用により森林再生、林業活性へ貢献するために発電設備のフル運転の継続を見込む。

(7) 産廃物処理フロー図

図-3 産廃物処理フロー 参照

(8) 連絡先

担当者：株式会社グリーン発電大分 天瀬発電所
所長 西尾雅之

3、計画期間

2024年 4月 1日 から 2025年 3月 31日 まで

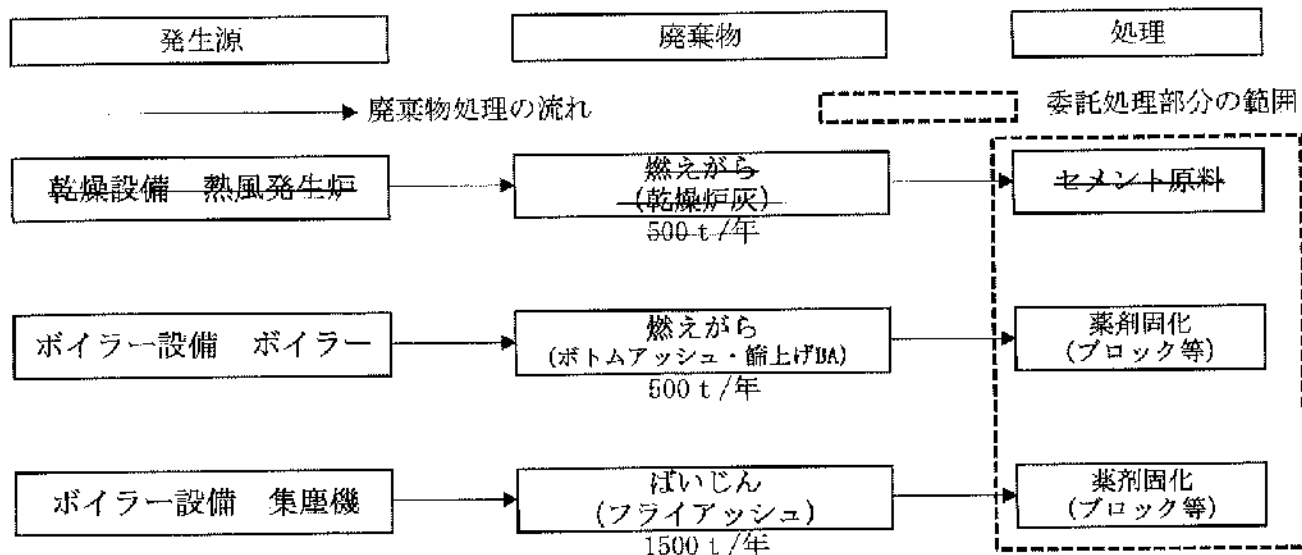


図-3 廃棄物処理フロー

4、産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織

(1) 責任者及び管理組織		天瀬発電所 取締役所長	西尾 雅之
廃棄物担当者		天瀬発電所 設備管理グループ 副所長 主任	
役 割	統括責任者	・ 廃棄物処理方針の策定 ・ 廃棄物処理に係る事項の決定及び承認 ・ 廃棄物処理計画の作成 ・ 廃棄物管理状況の把握と改善策検討 ・ 廃棄物処理委託先の調査選定及び管理 ・ 委託契約書作成および締結 ・ 産業廃棄物管理表の交付、管理 ・ 監督官庁への各種報告 ・ 所員、関連会社に対する教育、啓発 - その他関係する事項	
	廃棄物担当		

BT主任技術者

電気主任技術者

代表取締役

取締役所長

設備管理グループ

統括責任者

廃棄物担当者

(3) 目標の設定

現状では、ブロック材（薬剤固化）として処分委託している。
廃棄物に含まれる成分分析を行い、関係する行政、専門業者などと調査することで
有効利用可能であったため、産業廃棄物としての排出量削減を行う。

(4) 廃棄物の処理に係わる情報の収集、管理

産業廃棄物の処理、処分方法や再利用、有効利用の方法など関係各方面に調査の活動を
展開し、情報、知識、関係法令の収集に努める。

6、産業廃棄物の最終処分に関する事項

有効利用、再利用の模索を継続し、産業廃棄物の排出量削減を図る。

BA有效利用搬出量

BA有效利用 合計	917,920
--------------	---------

・BAについては、ビル工場の目土及び銅製錬用資材として、有効利用。

・FA、11月分について：定期修繕工事により一時搬出停止。

・2022年1月～BA販売先を追加（宇部サンド工業）